

フィリピン・アイランズ銀行

Bank of the Philippine Islands

中上 裕介

業種：銀行

●アヤラグループ傘下 東南アジア地域最初の銀行

フィリピン・アイランズ銀行(以下、同社)は、1851年設立のBanco Espanol Filipino de Isabel II (スペイン フィリピン人銀行)を起源とする東南アジア地域で最初の銀行。通貨ペソの前身であるフェルテ紙幣発行の歴史を持つ。

アヤラグループ2代目である、アントニオ・デ・アヤラが初代理事会のメンバーを務めており、1969年に同グループが戦略的資本参入を行うことで傘下となった。個人向け銀行業務や保険、証券仲介、投資銀行業務などのサービスを提供しており、フィリピン国内における支店/営業所は1,179店舗を数え、ATMは2,457台が稼働している。(2021年末時点)

●22年上半期は増収増益 配当性向引上げも

上半期の総収入は、前年同期比19.8%増の576億ペソ、純利益は同73.0%増の204億ペソとなった。貸出金が14.4%増加したことや、金利マージンが拡大したことにより、純金利収入が16.2%増の393億ペソに増加したこと等が主な増収要因。純利益については、不動産売却益と引当金の減少(前年同期65億ペソから50億ペソ)が利益押し上げの要因となった。資産売却と税金調整の一時要因を除いた場合でも、純利益は同24%増の167億ペソと大幅な増益となっている。

今年5月、同社は配当性向目標を前年同期比の35%目標から50%目標へ引き上げる方針を発表。これに伴い、2022年上半期の1株当たり配当金を1.06ペソ(前上半期0.90ペソ)とすることを発表、株主還元策を強めている。

●金利引き上げの影響

一般的に、金利引き上げ局面は銀行にとってもネガティブ要因であると考えられているが、一方で金利マージンの高まりによる利益率の改善はポジティブ要因でもある。現状、フィリピン経済は好調に推移していることから、後者の影響がより強く出ていると考える。

世界的なインフレの流れや、通貨安、景気後退などが懸念事項で残るが、同社はフィリピン経済発展の恩恵を享受できる銘柄であると考え。今後発表される経済指標等に注意を払う必要があるが、状況を見極めつつ投資タイミングを計りたい。

株式データ

2022/11/29 現在

株価	105.90ペソ
売買単位	10株
時価総額	4,779億4028万ペソ
予想 PER	13.19倍
ROE	12.20%
52 週高値	105.90ペソ
52 週安値	84.00ペソ

業績推移

【連結】

決算期	経常収入	前年比	純利益	前年比	1株利益	1株配当
'19/12	92,262	17.50%	27,822	25.28%	4.74	1.80
'20/12	101,923	10.47%	21,255	-23.60%	5.29	1.80
'21/12	97,405	-4.43%	23,750	11.74%	8.19	1.80

単位：百万ペソ、ただし 1 株利益、1 株配当はペソ

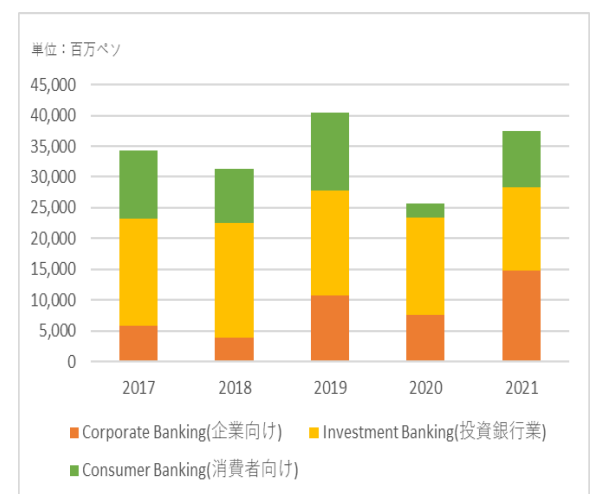
※1 株配当は株式分割・併合等調整済み、経常収入は配当収入、関連会社収益を除く

株価チャート(週足2021年12月3日～2022年11月25日)



[出所：株式データ、業績推移、株価チャートともにブルームバーグ等、アイザワ証券作成]

営業利益の部門別推移



[出所：同社年次報告書・Bloomberg データを基にアイザワ証券作成]

金融商品取引法に基づく表示事項

■ 本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

外国株投資の主なリスクと留意点

株価・為替の変動リスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。外国株式は、為替の変動等により、損失が生じるおそれがあります。

流動性リスク

流動性が低い銘柄の場合、市況または注文の規模により、望ましい価格での売買注文の執行が常に可能とは限らず、極端な場合、取引ができないことがあります。

カントリーリスク

投資対象国の経済的要因、政治的要因、社会情勢の混乱により、株式市況が影響を受けることがあります。また、各国の慣習や文化などの違いにご注意ください。

お客様にご負担いただく手数料等について

外国証券の外国取引にあたっては、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます（最低手数料は買いの場合のみ 5,500 円）。

対面口座： 売買代金の一律 2.20%

インターネット口座「ブルートレード」： インターネット発注 売買代金の 1.65%、コールセンター発注 売買代金の 1.98%、コンサルネット発注 売買代金の 2.20%

外国証券の売買等にあたり、円貨と外貨を交換する際には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。お取引の際は、契約締結前交付書面等をよくお読み下さい。

アイザワ証券 免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者またはアイザワ証券と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようにお願いいたします。

LINE 公式アカウント はじめました！

ベトナムを中心とした
アジア情報をお届けします
[友だち追加はこちらから！](#)



ID: @aizawa